

特定非営利活動法人 新潟情報通信研究所

賛助会員・個人会員募集のご案内

1. 特定非営利活動法人 新潟情報通信研究所（新潟ICL）の設立趣旨

混迷する中東情勢や身近なアジアとりわけ環日本海地域の諸問題を挙げるまでもなく、世界の情勢は瞬時に情報通信によって伝達され、「情報通信」という一つのキーワードで世界がボーダレスに結ばれようとしています。

また、平成16年10月23日に発生した中越大地震災では、防災無線の整備体制など保守管理を含めたソフト面での情報および情報通信教育が求められる結果となりました。こうした緊急時の対応、とりわけ外部からの支援を円滑に受け入れ、被災住民に安心感を与えると同時に二次災害を防止するなど、安全・安心のための情報通信の重要性は明らかです。

新潟は、本来天然資源の豊富な山・海・そして広大な越後平野に恵まれた肥沃な土地であります。その中で情報通信の整備拡充は全国的に見ても進んだものではなく、むしろ他の県に比較して後回しにされてきました。しかしながら、これからの世界的視点に立った新潟の発展を考えますと、東京*新潟*北東アジアへの交流は時代の趨勢であり、さらにそれらの先行基盤となるのは新潟の情報通信です。

そこで、新潟の情報通信のハブとして、企業の制約から開放された専門家集団“特定非営利活動法人新潟情報通信研究所”を設立し、自主自立で運営することにいたしました。具体的な活動としましては、まず(1)情報及び情報通信に係わる人のネットワーク作り、(2)情報および情報通信教育・研究を通じた地場産業支援、(3)情報および情報通信関係コンサルテーションを考えています。いまこそ新潟県全体が一丸となって先端情報通信基盤確立の事業を開始する時であり、新潟情報通信研究所はこの目的に大きく貢献できると確信します。

2. 理事長ご挨拶



デジタル技術の進展に伴い、日々膨大なデータが生み出される現代では、こうした大量かつ多様なデータ（ビッグデータ）を活用して、ビジネスのデジタルトランスフォーメーション（DX: Digital Transformation）を推進したり、社会の様々な課題に対処したりすることが求められています。ビッグデータを活用する技術の中でも、特に近年、急速に発展を遂げているのが人工知能（AI: Artificial Intelligence）です。人間の視覚能力を代替し、場合によっては人間を上回る性能を示すニューラルネットワークの登場に続き、現在では、言語理解や生成が可能な生成系AIを誰もが利用できる時代となりました。

このような背景には、コンピュータやインターネットに代表される情報通信技術が私たちの生活のあらゆるところに浸透し、社会に不可欠なインフラとなっていることが挙げられます。小学校でのプログラミング教育、高校での情報科目の必修化などを通じて、私たちは今、情報通信の基礎知識とリテラシーを身に付け、生成系AIをコモディティとして活用することが求められています。

これまで本NPOは、情報セキュリティに関するセミナーを継続的に実施し、情報通信に関する知識の啓発活動を行ってきました。しかし現在、情報通信技術が一般に普及し誰もが利用できるようになった今では、単に知識を提供するだけでなく、実際にそれを活用できるようにサポートすることが重要です。このように、市民が自らテクノロジーを活用し、地域社会の課題解決や行政サービスの改善を目指す取り組みは「シビックテック」と呼ばれます。当NPOは2023年度より、全国的にシビックテック活動を展開する「アーバンデータチャレンジ」に参加し、新潟における情報通信技術の利活用に貢献するよう取り組んでいます。こうした活動を成功に導くためには、多様な視点からの検討とサポートが不可欠であり、産官学が集い、互いに補完し合って活動する本NPOであるからこそできることは多くあると考えています。

私たちは、この新潟の地で、デジタル社会を支える情報通信技術の恩恵をより多くの人が享受できるよう、また若者が自身の夢の実現やキャリア形成に向けて情報通信の知識とスキルを身に付けられるよう、活動を続けてまいります。皆様の御参加、御支援、御協力を心よりお願い申し上げます。

3. 主たる事務所等
〒956-0024
新潟県新潟市秋葉区山谷町2丁目3-34-4 高橋方
電話 0250-22-2332
Eメール niigata.icl.npo@gmail.com
担当 事務局長 高橋 義彦

4. 新潟 ICL の活動体制

令和 7 年 度 役 員 名 簿

特定非営利活動法人 新潟情報通信研究会

役職名	フリガナ 氏 名
理事長	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也
副理事長	ナカノ ケイスケ 中野 敬介
副理事長	クワガタ ユウイチ 桑形 裕一
監事	イソニシ テツアキ 磯西 徹明
理事	オオウチ ノブアキ 大内 宣昭
理事	ヒロイ トモオ 廣井 智雄
理事	サカイ タカユキ 坂井 孝行
理事	ヤマザキ コウイチ 山崎 公一
理事	アオヤマ ジュン 青山 准
理事	タカノ イクオ 高野 郁雄
理事	タカハシ ヨシヒコ 高橋 義彦

5. 最近の活動等

(1) 定例事業

① 「サイバーセキュリティ月間記念」セキュリティセミナー

本事業は令和6年度開催で19回を数える歴史あるセミナーです。コロナ禍を契機に集合形式からハイブリッド形式(集合+リモート形式)として開催し、エリアフリーで県外者からの参加も可能となりました。

セミナー内容も第一部では総務省本省から講師をお招きし「総務省におけるサイバーセキュリティ政策の最新動向」に関する演題で講演をしていただき、第二部からは情報セキュリティ専門家や学術経験者による生活に密着した身近な情報セキュリティ事件から企業、国を巻き込んだ大規模な事件についての解析や法的な観点からの解説を行ってきました。

(2) 新規事業等（抜粋）

① ニイガタバースの主催

- A) 一時期のブーム的な盛り上がりも過ぎたメタバースですが、自分の化身であるアバターを用いたコミュニケーションによる新たな自分の発見を期待し、令和6年度新規事業で当NPO新潟ICL主催（後援：東日本電信電話株 新潟支店、(株)BSNアイネット、開志専門職大学）の第二回ニイガタバース（多様性・オンリーワン）を開催しました。
- B) 本内容は、メタバース空間を実際に用いることにより、対面の圧迫感を排除し、フリーで素の自分を表現しながら、自己の独自性・他人との類似性を感じて貰えるような企画です。参加者は非日常の空間でのひと時を楽しんでいたようで、メタバース効果なのか、自分のエピソードを話すときは仮想空間でありながら実に生き生きと話しての思いが伝わってきました。
- C) 今後も当NPOで情報技術を活用した新たなコミュニケーション作りの場を提供していきたいと考えます。

② 生成AIセミナーの主催

- A) 令和6年度から取り組み始めた事業で、令和6年10月23日に初回の三部作セミナーとして開催しました。
- B) セミナー1では日本マイクロソフト社から「生成AI最新動向」について生島南様にご講演をいただき、セミナー2では当NPO法人山崎理事長から「生成AI活用におけるITリテラシーの必要性」と題した講演を行い、セミナー3では当NPO賛助会員である(株)BSNアイネット根布執行役員様から「生成AI活用サービス事例紹介」を演題としてご講演をいただきました。
- C) AIもセンセーショナルなデビューを飾ってから豊富な話題を振りまいてきており、身近な生活密着ツールになりつつありますが、まだ、IT初心者には敷居が高い感覚もあり、このようなセミナーがまだまだ重要な情報収集ツール&場の実現方法として必要性があると感じていますので、継続事業として検討していきたいと考えています。

③ 事業創造大学院大学 「ICT技術戦略」公開講座後援

- A) 今年度は令和6年12月17日に、「デジタルエコノミー時代のテトリス型経営を主テーマに～変わらないために変わり続ける～」を講演テーマとして東京大学森川教授による特別講演が行われますが、当NPO法人は後援団体として参画し、会員からも参加をいただきました。
- B) 毎年行われているテクニカル講座ですが、厳格なテーマではありますが、森川教授のコミカルな話法も手伝いすんなりと頭に入る講義でした。これからも講座が続く限り後援を継続していきたい事業です。

④ UDC2024 地方拠点活動

- A) アーバンデータチャレンジは地域課題の解決を目的に、主に地方自治体を中心とする公共データを活用したデータ活用型コミュニティづくりと一般参加を伴う作品コンテストの2つのパートで構成されています。
- B) 前者は2014-2018年の5年間に「地域拠点」と称して、各都道府県単位から1つつづ活動の核となる場を作りながら、地理空間情報の流通や利活用を日本各地で促進する活動を行ってきました。後者についても毎年、広く募集を行い、地域課題解決に資する優良な作品を表彰する取組を行っています。
- C) 当NPOは2023-2024と2年間継続して新潟地域拠点として活動を続けています。

6. 賛助会員・個人会員の募集

(1) メリット

- ① 当NPOが主催、共催、後援等に関わる事業に際し、会員各位へ開催の周知を図るとともに、講師をはじめ当NPO法人役員や、他の賛助会員・個人会員等との交流の場を積極的に作っていきたいと思っています。
- ② また、こういった場の交流を通じて賛助会員企業の課題解決や新たな展開に資することができるものと考えています。当NPOの役員には新潟大学や事業創造大学院大学、開志専門職大学の著名な教授陣に就任いただいております。
- ③ また、当NPO法人が主催するセミナー等のイベントのみならず、当NPO法人が参画する各種協議会や他NPO法人、団体等のイベントへの参画も含めて、地域や業種を越えた会員相互の情報交換や交流の促進を図ることができるものと考えております。

- ④ これら活動を通じて会員からのご意見を当NPOの活動へ反映していくとともに、本活動で得られる知見は会員自身の自事業に発展に寄与できるものと考えております。
- (2) 賛助会員年会費（個人会員は会費無料）
30,000円（事業会計年度は4月～翌年3月までの一年間）
（年度途中からの加入については月割り減額あり。退会による返金はありません。）
- (3) 募集方法
 - ① 新規入会は別紙入会申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。
 - ② 現賛助会員の方も、改めて有料会員資格の意思確認のため、別紙申込書に必要事項をご記入の上、再度お申し込みをお願いします。

NPO 法人 新潟情報通信研究所 入会申込書

NPO 法人 新潟情報通信研究所
理事長 山崎 達也 様

申込日 20 年 月 日

私はNPO法人 新潟情報通信研究所の目的及び事業内容に賛同し、入会を申し込みます。

※この法人での活動で知り得た個人情報、公開前の事業情報を他言しないことを誓約します。

ふりがな			生年月日 (設立月日)	西暦 月 日 年
お名前 (法人名)	※個人会員希望の方はご署名をお願いします。			
ご住所	〒			
E-mail				
TEL		FAX		
URL				
会員種別	個人会員／賛助会員			
備考				

※「個人情報保護法」に基づき、本人の承諾を得ないで個人情報を第三者に提供することは致しません。

※会費については総会の承認に基づき扱いを決定させていただきます。(個人 0円、賛助会員 30,000円/年)

※有効期限内に退会の申し出がない場合は、会員資格は自動的に継続されます。

受付	登録	